

福島県の農林水産業の概要

特徴・取組

福島県は、東北地方の最南端に位置し、県土面積は13,784km²で北海道、岩手県に次いで全国第3位の広さを有している。

中央部の奥羽山脈と東部の阿武隈（あぶくま）高地の2つの山系が存在するため、山系で隔てられた各地域は、会津地方・中通り地方・浜通り地方の3地域に大別される。

また、地域で気象が異なり、会津地方は山間部を中心に豪雪となる日本海側の気候、浜通り地方は温暖で雪の少ない太平洋側の気候、中通り地方はその中間的気候となっている。

産業構造は、就業者数の比率（令和2年）を産業別にみると、第1次産業が6.2%、第2次産業が29.6%、第3次産業が64.2%となっている。

本県の農林水産業は、大消費地である首都圏に近接する条件の下、全国有数の耕地、森林面積を有しているほか、黒潮と親潮が交わる良好な漁場に恵まれている。

令和4年農業産出額は1,970億円（全国第17位）。農業算出額の内訳は米29.9%、畜産24.7%、野菜23.4%、果実15.2%となっている。

福島県農林水産業振興計画で「『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村」を基本目標として、担い手の確保・育成、先端技術の導入やこれに対応する生産基盤の整備、GAPの認証取得促進、県オリジナル品種（「福、笑い」「ゆうやけベリー」等）の普及拡大によるブランド力強化、有機農業を始めとする環境と共生する農業の推進等に取り組んでいる。

平成23年3月に発生した東日本大震災と、震災に続く原子力災害により、本県農林水産業は、かつてない甚大な被害を受けた。大津波により生産基盤は大きく損なわれるとともに、原子力災害においては、国の避難指示や農林水産物の出荷制限、風評による販路の縮小と市場価格の下落など深刻な事態に直面した。

これまで、農林漁業者を始め、行政、団体等関係者の懸命な努力により、原子力被災12市町村における営農再開率が46.3%（令和5年3月末現在）まで回復するなど、本県の農林水産業の復興・再生は着実に進んでいる。

主な農林水産物

もも
6月～9月までが旬。
夏の暑さが甘みを凝縮。代表品種「あかつき」、「はつひめ」、「ゆうぞら」など。
（収穫量全国2位）



アスパラガス
4月～9月までが旬。
会津地方を中心に、「ウェルカム」、県オリジナル品種「ハルキタル」など。
（収穫量全国9位）



日本なし
8月～10月までが旬。
「幸水」、「新高」など産地毎の収穫時期の差で旬のものが長期間出荷される。
（収穫量全国4位）



なめこ
ぬめりが強くしつかりした歯ごたえが特徴。世界初の栽培実験は福島県で成功。
（生産量全国4位）



福島牛・鶏肉
「福島牛」は、良質な霜降り。鶏肉は、「会津地鶏」、「川俣シャモ」が有名。（肉用牛飼養頭数全国16位）



きゅうり
7月～9月までが旬。
夏秋きゅうりの生産量が全国1位。パリッとした食感とみずみずしさが特徴。
（収穫量全国4位）



トマト
7月～10月までが旬。
高冷地の南会津では、昼夜の寒暖差で高品質な「南郷トマト」の栽培が盛ん。
（収穫量全国8位）



りんどう
9月上旬から咲く濃い青紫の「ふくしまほのか」や9月中旬から咲く紫ピンクの「ふくしまかれん」が人気。
（出荷量全国4位）



米
食味の良さも有名。トップブランドとして「福、笑い」の生産に力を入れている。
（収穫量全国6位）



ヒラメ
9月～11月までが旬。
黒潮と親潮が混じり合う海で育まれ「常磐もの」として高く評価。
（漁獲量全国4位）



福島県内の各地域における農林水産物

県中地域

【農畜産物】水稲、きゅうり、トマト、ピーマン、なす、ねぎ、いちご、エゴマ、りんご、日本なし、肉用牛

【林産物】生しいたけ、なめこ、木炭

【水産物】食用コイ(養殖)

県北地域

【農畜産物】 水稻、きゅうり、いちご、もも、日本なし、りんご、ぶどう、かき、切り花（キク）、花木（枝物）、肉用牛、乳用牛、ブロイラー、川俣シャモ

会津地域

【農畜産物】 水稻、そば、アスパラガス、きゅうり、トマト、りんご、かき、宿根かすみそう、会津地鶏

【林産物】 桐、うるし

相双（そうそう）地域

【農産物】水稲、大豆、甘
しよ、たまねぎ、ブロッコ
リー、ねぎ、いちご、日本な
し、ぶどう、トルコギキョウ、
胡蝶蘭

【水産物】ヒラメ、カレイ類

南会津地域

【農産物】水稲、そば、ト
マト、アスパラガス、りん
どう、宿根かすみそう
【林産物】山菜、きのこ、
からまつ、広葉樹

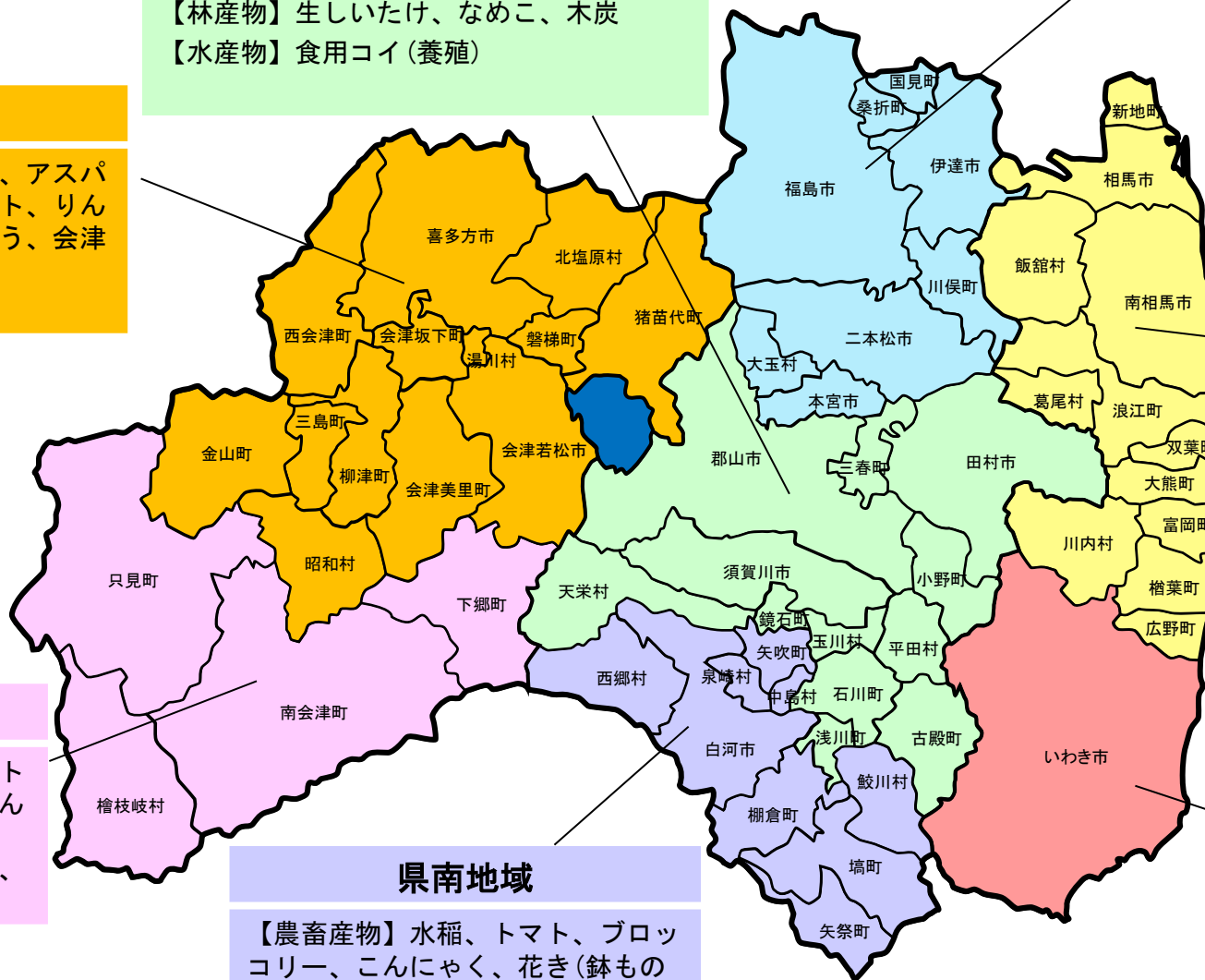
県南地域

【農畜産物】 水稻、トマト、ブロッコリー、こんにゃく、花き(鉢もの類)、乳用牛、豚

【林産物】 すぎ、生しいたけ、木炭

いわき地域

【農産物】 水稲、トマト、いちご、ねぎ、日本なし
 【林産物】 生しいたけ
 【水産物】 カツオ、サバ、サンマ、ヒラメ、シラス、ウニ、メヒカリ



福 島 県 の 農 業 (1)

- ・ 耕地面積は13万4,500haで全国7位。うち田が9万5,500ha、畑が3万9,000ha。
- ・ 農業経営体数は4万2,598経営体で全国4位。うち法人経営体が756経営体で12位。
- ・ 認定農業者数は6,959経営体で全国11位。うち法人数が708法人で15位。

耕地面積

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
耕地面積	134,500 ha	4,297,000 ha	7
田	95,500 ha	2,335,000 ha	5
畑	39,000 ha	1,962,000 ha	10
普通畑	28,000 ha	1,120,000 ha	9
樹園地	6,390 ha	253,500 ha	11
牧草地	4,630 ha	589,000 ha	7
参考) 総土地面積	1,378,439 ha	37,797,539 ha	3

出典:「令和5年耕地面積(7月15日現在)」、「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	12,718 ha	253,217 ha	4

出典:「令和4年度の荒廃農地面積(令和5年3月31日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	55,198 ha	2,573,672 ha	10
集積率	40.6 %	59.5 %	24

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和4年度版)」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

- ・ 令和6年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
- ・ 表中に使用した記号は次のとおり

「O」: 単位に満たないもの(例: 0.4t→0t)

「-」: 事実のないもの

「…」: 調査を欠くもの

「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
農業経営体数	42,598 経営体	1,075,705 経営体	4
法人経営体	756 経営体	30,707 経営体	12
総農家数	62,673 戸	1,747,079 戸	4
販売農家	41,060 戸	1,027,892 戸	3
参考) 世帯総数	742,911 世帯	55,830,154 世帯	21
集落営農数	422 集落営農	14,204 集落営農	15

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和5年集落営農実態調査結果(令和5年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	51,599 人	1,363,038 人	5
男	30,328 人	822,144 人	5
女	21,271 人	540,894 人	6
65歳以上	38,596 人	948,621 人	3
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	74.8 %	69.6 %	-
認定農業者数	6,959 経営体	219,846 経営体	11
法人数	708 法人	28,720 法人	15
参考) 総人口数	1,833,152 人	126,146,099 人	21

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和5年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

福 島 県 の 農 業 (2)

- ・農業産出額は1,970億円で全国17位。うち米が589億円（29.9%）、野菜が460億円（23.4%）、畜産が487億円（24.7%）。
- ・農畜産物の生産状況は、ももが全国2位、宿根かすみそうが3位、きゅうり、日本なし、りんどうが4位、りんごが5位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が3億円で全国3位、経営体数は130経営体で2位。

農業産出額

区 分	福島県	全国	全国順位
農業産出額	1,970 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	17
米	589 億円 (29.9)	13,946 億円 (15.5)	7
麦類	0 億円	647 億円	23 *
雑穀	5 億円	83 億円	6
豆類	3 億円	715 億円	23
いも類	11 億円	2,199 億円	18
野菜	460 億円 (23.4)	22,298 億円 (24.8)	16
果実	300 億円 (15.2)	9,232 億円 (10.3)	8
花き	82 億円	3,493 億円	13
工芸農作物	7 億円	1,551 億円	19
その他作物	12 億円	607 億円	14 *
畜産	487 億円 (24.7)	34,678 億円 (38.5)	19
肉用牛	135 億円	8,257 億円	17
乳用牛	82 億円	9,013 億円	20
生乳	75 億円	7,916 億円	20
豚	93 億円	6,713 億円	21
鶏	176 億円	9,716 億円	21
鶏卵	143 億円	5,638 億円	18
ブロイラー	16 億円	3,940 億円	28 *
その他畜産物	2 億円	979 億円	25
加工農産物	14 億円	565 億円	10

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	福 島 県	全 国	全国順位
水稻	収穫量	R5	327, 600 t	7, 165, 000 t	6
きゅうり	収穫量	R4	40, 500 t	548, 600 t	4
トマト	収穫量	R4	22, 000 t	707, 900 t	8
アスパラガス	収穫量	R4	1, 430 t	26, 000 t	9
もも	収穫量	R5	28, 500 t	109, 500 t	2
日本なし	収穫量	R5	13, 800 t	183, 400 t	4
りんご	収穫量	R5	18, 500 t	603, 800 t	5
宿根かすみそう	出荷量	R4	8, 090 千本	45, 800 千本	3
りんどう	出荷量	R4	3, 470 千本	73, 100 千本	4
肉用牛	飼養頭数	R5	50, 300 頭	2, 687, 000 頭	16

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	福島県	全 国	全国順位
農産加工	総額 16,397 百万円 事業体数 1,150 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	20 4
農産物直売所	総額 26,134 百万円 事業体数 640 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	16 12
観光農園	総額 551 百万円 経営体数 120 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	24 15
農家民宿	総額 291 百万円 経営体数 130 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	3 * 2 *
農家レストラン	総額 821 百万円 事業体数 50 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	18 * 3 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

福 島 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は138.9億円で全国9位。うち木材生産が101.6億円、栽培きのこ類生産が36.8億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国8位、桐材が全国1位、なめこが4位。

林業産出額

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
林業産出額	138.9 億円	5,806.6 億円	9
木材生産	101.6 億円	3,604.6 億円	8 *
栽培きのこ類生産	36.8 億円	2,079.5 億円	16

出典：「令和4年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
素材生産量	950 千m ³	22,082 千m ³	8 *
針葉樹	820 千m ³	20,386 千m ³	8
あかまつ・くろまつ	59 千m ³	559 千m ³	3
すぎ	668 千m ³	13,238 千m ³	7
広葉樹	130 千m ³	1,696 千m ³	3 *
なめこ	生産量 1,725 t	23,738 t	4 *
桐材	生産量 160 m ³	230 m ³	1

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
林野面積	942,413 ha	24,770,201 ha	4
国有林	373,261 ha	7,153,338 ha	3
民有林	569,152 ha	17,616,863 ha	7
人工林面積	340,056 ha	10,133,111 ha	7

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
工場数	126 工場	3,804 工場	8
製材用素材の入荷があった工場数	126 工場	3,778 工場	8
国産材のみ	105 工場	3,054 工場	9
国産材と輸入材	21 工場	560 工場	9

出典：「令和4年木材需給報告書」

林業経営体数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
林業経営体数	777 経営体	34,001 経営体	17
法人経営体	94 経営体	4,093 経営体	15

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

福 島 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は102億円で全国33位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のさんま、ひらめが全国4位、内水面養殖業のこいが2位。

漁業産出額

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	102 億円	14,372 億円	33

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	377 経営体	79,067 経営体	36
内水面漁業経営体数	35 経営体	4,772 経営体	32

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,080 人	151,701 人	34
男	1,007 人	134,186 人	34
女	73 人	17,515 人	30

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
漁船隻数	444 隻	132,201 隻	38
動力漁船	316 隻	69,920 隻	38

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	58,075 t	3,862,831 t	20 *
海面漁業漁獲量	57,900 t	2,950,992 t	14
さんま	1,593 t	18,384 t	4 *
ひらめ	697 t	5,898 t	4
海面養殖業収穫量	175 t	911,839 t	34 *
ばらのり	84 t	6,287 t	6 *
内水面漁業・養殖業生産量	1,092 t	54,115 t	12 *
内水面漁業漁獲量	5 t	22,612 t	35
さけ類	3 t	9,694 t	8
内水面養殖業収穫量	1,087 t	31,503 t	7 *
こい	646 t	2,027 t	2 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	福 島 県	全 国	全国順位
水産加工			
総額	x 百万円	181,820 百万円	- *
事業体数	x 事業体	1,460 事業体	- *
水産物直売所			
総額	x 百万円	37,410 百万円	- *
事業体数	x 事業体	840 事業体	- *
漁家民宿			
総額	- 百万円	5,986 百万円	- *
経営体数	- 経営体	740 経営体	- *
漁家レストラン			
総額	x 百万円	11,598 百万円	- *
事業体数	x 事業体	420 事業体	- *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

福島県の農林水産業の話題等（１）

原子力災害被災地域の営農再開の推進

原子力被災12市町村における営農再開は、令和5年3月末現在で46.3%となっている。

避難指示解除の時期によりそれぞれ進捗は異なるものの、水稻、園芸作物などによる営農再開が進んでおり、県外企業の参入による甘藷（かんしょ）の大規模産地の形成を始め、自動運転トラクタ等先端技術を活用した水稻等の実証・普及、また、震災後、新たな園芸品目として花き栽培施設の導入や、ブロッコリー・たまねぎ・長ネギ等の土地利用型野菜生産の取組が拡大している。

森林林業の再生に向けた取組

東日本大震災で被災した林地・林道等の被害については、概ね復旧が完了し、海岸防災林については、引き続き整備を進めている。放射性物質の影響により、森林整備や林業生産活動が停滞し、森林の荒廃や山村地域の衰退が懸念されるため、再生に向け、ふくしま森林再生事業や広葉樹林再生事業等により森林整備を進めている。

（森林整備面積64,761ha ※平成24年から令和4年までの累計）

また、森林の再生はもとより、林業・木材産業の成長産業化に向け、林業就業者を確保・育成するため、令和4年度に「林業アカデミーふくしま」を開講し、林業への就業希望者や林業従事者等を対象とした研修を行っている。

水産業の復興に向けた取組

東日本大震災以降、漁船・施設・漁場等の復旧整備を進めるとともに、徹底した放射性物質検査を根幹に海域・魚種を限定した試験操業を進め、令和3年4月から本格的な操業に向けた取組へと移行した。沿岸漁業の水揚量は約5,604トン（令和4年）と震災前（平成22年）の22%であり、引き続き首都圏等での常設販売コーナーの設置や、「常磐もの」を始めとした県産水産物の魅力やおいしさ等の発信など、水揚げ拡大と連動した販路回復、消費拡大の各種取組を展開している。



ロボットトラクター（南相馬市）



長ネギ生産（浪江町）



海岸防災林の再生（相馬市）



ふくしま森林再生事業による森林整備
（須賀川市）



首都圏での常設販売コーナー（福島鮮魚便）



「ふくしま常磐もの」の情報サイト

福島県の農林水産業の話題等（2）

県産農林水産物のブランド力強化に向けた取組

福島県では、県産農林水産物の競争力強化を図るため、令和4年9月に「福島県農林水産物ブランド力強化推進方針」を策定した。本方針に基づき、市場のニーズを的確に把握し、生産から消費に至る取組の連携強化を図りながら県産農林水産物の高付加価値化・生産力強化を進めるため、関係団体等と連携し、県内3つの品目・産地で「ならではプラン」を策定するとともに、戦略的な情報発信を一体的に行うことでブランド力の強化を推進している。

また、高付加価値化の取組として県オリジナル品種の導入を進めており、令和3年度には「かおり、あまみ、ふくよかさ」を特徴とした主食用米「福、笑い」が、令和4年度には甘みや香りが強く大粒のものが多いいちごの「ゆうやけベリー」がデビューし、作付拡大・消費拡大に取り組んでいる。

福島ならではの農林水産物ブランド力強化推進

生産から消費に至る取組の連携強化を図りながら、県産農林水産物の高付加価値化・生産力強化を進めるとともに、情報発信を一体的に行うことでブランド力の強化を図るため、県産農林水産物について各品目の市場調査、消費者動向調査、認知度調査などの精緻な調査を実施するとともに、産地のブランド力強化にむけた取組を支援。

JAグループ、関係市町村、県関係機関（本庁、農林事務所）で組織した産地ワーキンググループを開催し、調査項目の決定やならではプラン策定に向けた意見交換等を実施。

3産地においてワーキンググループを開催



調査内容
検討・実施

調査結果
の共有

ワーキンググループ

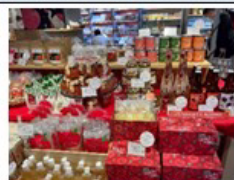
産地が優先して取り組むべき内容を検討



先進地調査



産地分析



販売店調査



消費者調査

【令和5年度取組産地】



3産地で「ならではプラン」を策定

福島ならではの農林水産物ブランド力強化推進イメージ

福島県オリジナル品種



福、笑い



ゆうやけベリー

福島県公式YouTube

